

令和6年能登半島地震における 日水コンの災害支援

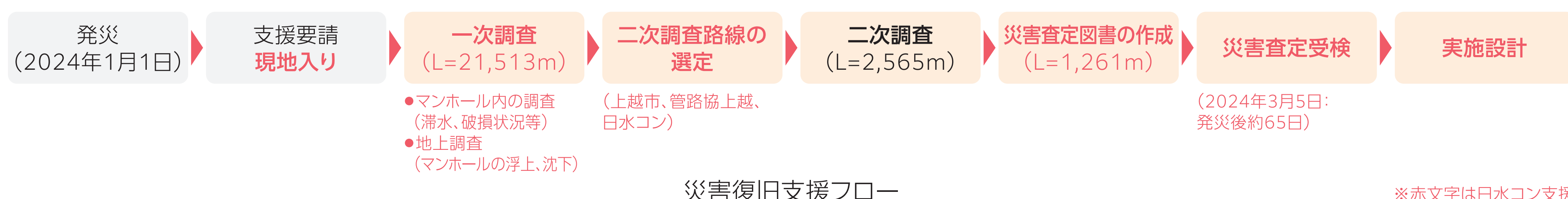
近年、地震や豪雨による大規模災害が全国的に多発しています。日水コンでは、2024年1月1日に発生した「令和6年 能登半島地震」においても、過去の大規模災害での支援経験をもとに、被災のあった自治体に対して、初動から災害査定受検までを全面的にサポートしました。

令和6年能登半島地震での災害復旧支援

日水コンでは、過去の大規模災害での支援経験のある技術者を中心に、
石川県では ①穴水町、②かほく市、③小松市
富山県では ④小矢部市、⑤射水市、⑥富山市
新潟県では ⑦上越市
の計7自治体において、災害復旧支援に従事しています。



初期対応からの災害復旧支援(新潟県上越市)



災害復旧支援フロー

※赤字は日水コン支援



一次調査状況(タブレットでなく紙台帳で対応)



マンホール内の滞水状況



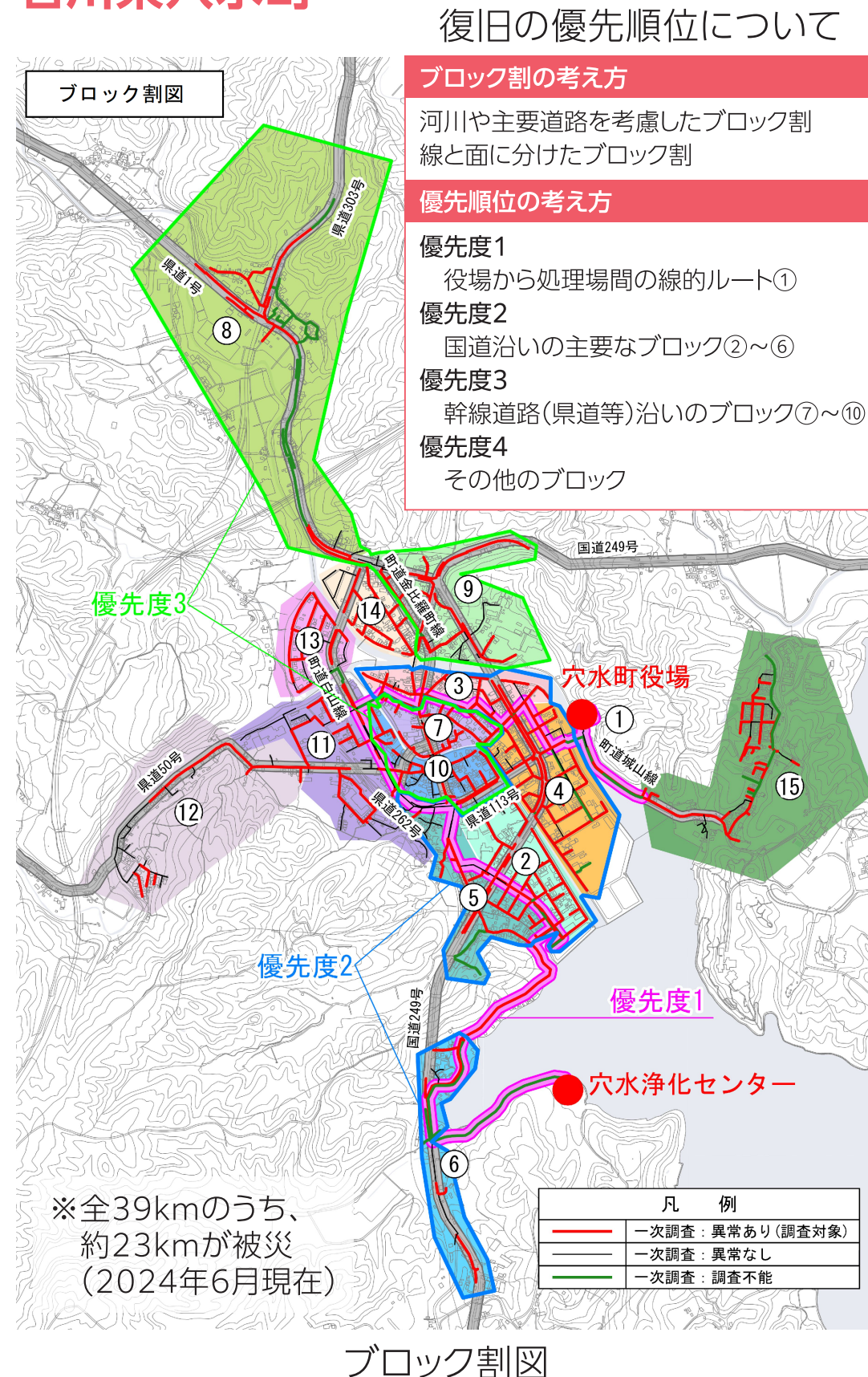
マンホールの浮上状況



災害査定受検状況

奥能登地域における災害復旧支援

石川県穴水町



ブロック割図

復旧の優先順位について

ブロック割の考え方
河川や主要道路を考慮したブロック割線と面に分けたブロック割

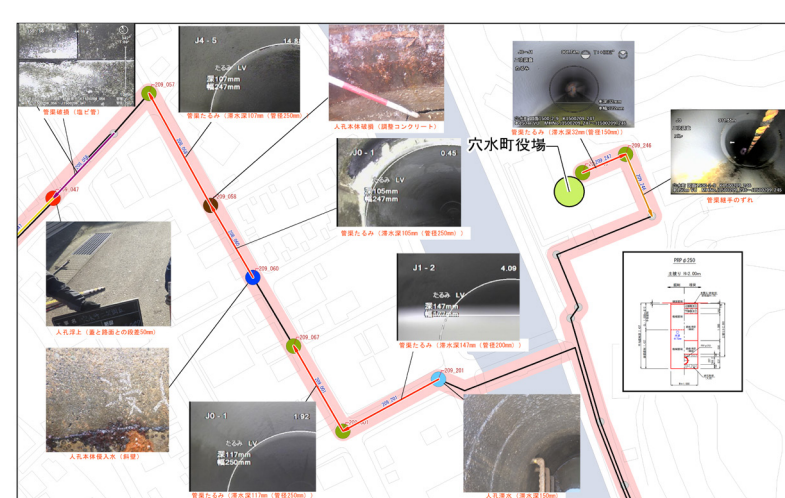
優先順位の考え方

優先度1
役場から処理場間の線のルート①

優先度2
国道沿いの主要なブロック②～⑥

優先度3
幹線道路(県道等)沿いのブロック⑦～⑩

優先度4
その他のブロック



下水道管路災害査定資料



応急仮復旧(仮ポンプ+砕石設置)



マンホール浮上

実践的なBCP訓練の取組事例

神奈川県厚木市 2019年9月1日(防災の日)

BCP訓練の基本方針

- 発災後に職員が主体的に対応する一次調査にフォーカスしました。
- 大規模災害に伴う人手不足を想定し、厚木市下水道関連職員の全員参加型としました(事務系職員含む全24名)。
- 日曜日の午前半日(8:30～12:00)で実施しました。
- 訓練は、机上型訓練(グループワーク)と実地訓練に分けて実施しました。

机上型訓練・実地訓練

- 早期復旧に向けて、下水道管路施設の被災状況を把握するためには「どのように一次調査を実施すればよいか?」をテーマに、一次調査計画書を作成していただきました。
- 更に理解を深めていただくため、机上型訓練の実施後に、厚木市役所周辺のマンホールを使用して、実地訓練を行いました。



机上型訓練



実地訓練

防災訓練の効果

- わずかな訓練時間であっても、想像し、シミュレーションすることで、課題や改善点が明らかになる。
- 訓練によって、職員一人一人の「自分ごと化」ができる。
- 外部からの人間(日水コン職員)が参加・運営を行ったことや、座学・グループワーク・実地訓練を組み合わせたことで、訓練が単調にならない。

訓練から災害支援まで、
我々が全力でサポートいたします!